
令和7年度 第2回 筑前町地域公共交通会議 議事概要

(1) 開催概要

日時 : 令和7年9月2日(木) 15:00 ~ 15:40

場所 : コスモスプラザ 2F 1,2,3 会議室

参加者 : 末尾の参加者リストを参照

(2) 委員の交代について

(事務局) 筑前町商工会より委員交代の申し出があり、前任の前田委員から後任の平野委員に交代する。なお、監事についても、平野委員が引き継ぐこととする。

(事務局) 令和7年7月1日付で岩下副町長が着任し、オブザーバーとして本協議会に参画する。

(3) 報告事項（経過報告）

1) 西鉄上西山線廃止に伴う書面決議について・書面決議の結果報告

(事務局) 資料 1 をもとに書面決議の結果について報告した。

—質問・意見なし—

2) 運行事業者へのヒアリング結果について

(事務局) 資料 2 をもとに運行事業者へのヒアリング結果について報告した。

(福岡運輸支局) 目標 1 オンデマンドバスの収支率について、人件費や燃料費等の物価水準が上がっている中、目標とする収支率 15%を達成するためには、乗合率を向上させる必要がある。他市町村では、乗合した場合に運賃の割引を適用する等の施策が行われている。乗合率の増加は、運転手不足にも効果を発揮することから、乗合率の向上に資する取り組みを検討いただきたい。

(事務局) 物価高騰等は今後も続く見込みであることから、ご意見を参考にしながら目標達成に有効な施策を考え、本協議会ので話していきたい。

(委 員) 収支率は、運行経費と運賃収入の割合で算出しているか。

(事務局) 運行経費と運賃収入の割合で算出している。

(委 員) 今後運賃収入以外で収益を得ることは検討しているか。

(事務局) 車両のラッピング（広告）や企業とのタイアップ、車内のデジタルサイネージ等、運賃以外で収入を得る取り組みについて、今後検討を進める予定である。

(委 員) デジタルサイネージ等を使用することで、福岡県の補助金など活用できるのではないか。

(福岡運輸支局) デジタルサイネージについて、福岡県や国でも補助事業があるため、検討の際はお声がけいただきたい。

(福岡運輸支局) 事業者ヒアリングは、素晴らしい取り組みであり、是非毎年やっていただきたい。運転士不足や経営難といった交通事業者が抱える問題を自治体が率先して把握し、対策を講じていくことが重要である。

(事務局) 交通事業者との意見交換は、地域公共交通を維持していくうえで重要なことと認識している。時間の許す限り、毎年実施する方向で検討したい。

(会 長) オンデマンドバスの収支率が、一定の基準に達した場合の補助金メニューはあるか。また、運賃収入以外（協賛等）を含めて収支率を算出してよいのか。

(福岡県) 福岡県のバスに関する補助として「福岡県生活交通確保対策補助金」があり、バスの運行費に関しては収支率 25%以上を対象とし補助を出している。デマンド／オンデマンドバスについては、乗合率が 1.5 人以上を対象としている（オンデマンドバスは収支率 25%以上もしくは乗合率 1.5 人以上で補助対象）。また、オンデマンドバスに特化した補助として、収支率に関係なく導入から 2~3 年間を対象として運行費を補助するものがある。基本的に、経費から運賃を除いたものが対象経費になる中で、運賃外収入を収入に含めた場合は収益として

は上がってしまう。運賃外収入を収益に含めるかどうかについては、この場で回答できないので、後日改めて回答する。

- (会 長) 資料 P3 に「上西山線の廃止に伴い、オンデマンドバスの需要が増え確実な配車が可能か危惧」とあるが、今後オンデマンド需要が増えた場合の対応可能性、感触等はあるか。
- (アイシン) 現在筑前町のオンデマンドバス利用者数は右肩上がりに伸びているが、運行自体に余力はあるため、多少の需要には対応可能と考えている。ただ、上西山線の廃止に伴いどの程度需要が伸びるかが想定できていないため、あまりにも需要大きい場合は、予約が取れなくなる時期が来る可能性がある。その場合は、運行ルールや車両台数を見直す必要がある。
- (委 員) 現状は滞りなくチョイソコちくちゃんを運行しているが、上西山線の廃止に伴って今後西鉄筑紫駅や JR 原田駅など遠距離の乗り入れが発生する場合は、車両や運転士の問題が発生すると思う。
- (会 長) 路線廃止後の状況次第ではあるが、上記のことについて、事務局としてご認識いただきたい。

(4) 協議事項

1) かがし祭本祭と連携した公共交通利用促進事業について

① かがし祭時のチョイソコちくちゃんの臨時運行

(事務局) 資料3にてかがし祭時のチョイソコちくちゃんの臨時運行について説明した。

(会 長) 臨時運行について、公共交通会議での負担は往復の運賃ということでもいいか。

(事務局) 西鉄バスの利用については、帰りの運賃のみを負担する。特設ブース等でチケットを配布し、後日集計したあと精算する予定である。チョイソコちくちゃんについては、往復の負担を考えている。

(福岡運輸支局) かがし祭時のオンデマンドバス臨時運行について、素晴らしい取り組みであると思う。まず1回体験するという行為は、マーケティング上かなりハードルが高いことから、効果的な取り組みであると思う。公共交通で祭りに来訪する強みなどをうまく周知できれば良いのではないか。

(事務局) 毎年2回会員様向けに「チョイソコ通信」を発行しており、本件をご承認いただけた場合には10月に周知を実施する予定である。様々な工夫を施しながら利用の呼びかけを実施していきたい。

(会 長) 会員以外の周知についてはお考えはあるか。

(事務局) 祭りイベントのチラシの中に、運賃補助やチョイソコちくちゃんの臨時運行等を記載し、周知に取り組む予定である。

② 西鉄バスの利用促進

(事務局) 資料3をもとに西鉄バスの利用促進について説明した。

③ 運転士募集に関する取り組み（情報発信）

(事務局) 資料3をもとに運転士募集に関する取り組み（情報発信）について説明した。

(委 員) 運転士募集の取り組みに関して、福岡県が実施している「人材募集促進事業」の一環として実施できるのでないか。福岡県と連携して実施することで、更に効果的な取り組みになると考える。

(福岡県) 今年度福岡県として、タクシー・バスそれぞれの運転士確保に取り組んでおり県内4箇所で説明会・体験会を予定している。提案の内容については、一度持ち帰り検討するが、県として市町村との連携無くして運転士確保は難しいと考えており、改めてお話しをさせていただきたい。

(会 長) 上記①②③の提案事項について異議はあるか。また、臨時運行に関する内容は、福岡運輸支局への申請事項になるので、承認するところよろしいか。

—全会一致で承認—

(5) その他

(事務局) 今回の会議は本年度12月を予定している。

以上

令和7年度第2回筑前町地域公共交通会議出欠表

任期 令和7年6月1日～令和9年5月31日

会長：稲永 健太郎

副会長：柏原 德行

監事：甲斐 智英・平野 浩樹

【敬称略】

	所 属	役 職	氏 名	出欠	代理出席
1	筑前町	町長	田頭 喜久己		
2	西鉄バス二日市株式会社	代表取締役	江口 正男		
3	西日本鉄道株式会社 自動車事業本部営業部 地域ネットワーク担当	課長	池田 舞		
4	株式会社甘木観光バス	代表取締役	池野 栄次		
5	矢野タクシー株式会社	代表取締役	矢野 正洋	欠	
6	有限会社宮原タクシー	取締役	石井 厚子		
7	福岡県筑後地区タクシー協会	専務理事	國友 真		
8	甘木鉄道株式会社	総務営業部長	上野 孝徳		
9	区長会	会長	柏原 德行		
10	筑前町シニアクラブ連合会	女性部長	勝山 一美		
11	筑前町民生委員児童委員協議会	民生委員・児童委員	後藤 玉枝		
12	PTA代表	東小田小学校	中島 敬尋		
13	九州産業大学	教授	稲永 健太郎		
14	九州運輸局福岡運輸支局	支局長	永松 靖二		首席運輸企画専門官 辻 美貴善 運輸企画専門官 武末 得児
15	甘木観光労働組合	副執行委員長	古賀 文紀		
16	福岡県朝倉県土整備事務所	地域整備主幹	中島 慎太郎	欠	
17	筑前町役場建設課	土木建設1係長	蒲池 晴久		
18	福岡県朝倉警察署	交通課長	栗山 隆巳	欠	
19	筑前町社会福祉協議会	事務局長	甲斐 智英		
20	筑前町商工会	理事	平野 浩樹		

区分	所 属	役 職	氏 名		代理出席
オ ブ ザ ー バ ー	九州運輸局福岡運輸支局	事務官	佐藤 駿乃介		
	福岡県企画・地域振興部交通政策課	課長補佐	三重野 直美		交通政策課 長田 佑一
	筑前町	副町長	岩下 定徳		
	株式会社 アイシン	地域サービス推進グループ グループ長	成岡 徹		
	株式会社 アイシン	地域サービス推進グループ 主任	和田 光弘		
	日本工営株式会社 福岡支社	交通都市部交通システムグループ 課長	津田 圭介		
	日本工営株式会社 福岡支社	交通都市部交通システムグループ	荒尾 俊介		
	筑前町教育委員会 教育課	係長	井浦 直洋		
	筑前町福祉課	係長	石橋 さやか	欠	

事務局	企画課	課 長	村山 弥生
	企画課企画調整・ふるさと納税係	係長	藤上 隆太郎
	企画課企画調整・ふるさと納税係	主査	手島 貴宏
	企画課企画調整・ふるさと納税係	主査	松澤 千恵

